

あくせす news

第 246 号
2022 年 12 月 14 日
発行者
呉市医師会病院
地域医療福祉連携室
あくせす

澄みきった夜空に冬の星座が明るく瞬く季節となりました。
今年の冬も新型コロナウイルスが猛威をふるっており、12月現在、当院においても入院患者さんや職員に感染者や濃厚接触者が複数確認されています。
入院の受け入れにお時間を要することがあるかと存じますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。
さて、先生方には今年もあくせすをご利用いただき、誠にありがとうございました。
寒気厳しき折、皆さまが健やかなる新年を迎えられますよう、お祈り申し上げます。



■腸内フローラ検査のご案内

検査料金 20,900 円 (税込)



当院では話題となっている腸内フローラ検査 (Mykinso Gut V4) を導入しています。検査結果レポートには腸内フローラのバランスや疾患リスク判定、生活習慣改善アドバイスが記載されます。ご興味のある方がおられましたら是非ご案内のほど、よろしくお願いいたします。

【問合せ先】あくせす TEL32-7576

■血圧脈波検査のご案内

当院では上腕と足関節の血圧を同時に測定し、ABI (血管の狭窄) と baPWV (血管年齢・血管の硬さ) の測定ができる血圧脈波検査を行っています。動脈硬化性疾患の一指標としてご利用いただくことができ、また、心疾患・高血圧症・糖尿病疾患においても有用な検査です。対象の患者さんがおられましたらご紹介のほど、よろしくお願いいたします。なお、当日検査のご依頼にも対応可能ですのでお気軽にご連絡ください。

- 仰向けに寝た状態で両腕・両足首の血圧と脈波を測定します。(検査時間は5~10分程度)
- 診療報酬点数 100 点 (検査点数のみ)
- 診療情報提供書に普段の血圧値のご記入をお願いします。
- 経過観察のための再検査は3ヶ月以上あけてお申込みください。

動脈硬化検査

検査結果: 低リスク (400) | 中リスク (800) | 高リスク (1200)

検査値: 1285 (1200)

患者さん用

医療機関用

動脈の硬さとリスクを血管年齢で表示しています。結果レポートは2部(医療機関用と患者さん用)送付いたします。

【申し込み先】生理検査室 TEL22-2321(代表)

関係医師懇談会 ご案内

【演題】『大腸肛門病センターの近況報告 その2』
【講師】中塚 博文 先生 (呉市医師会病院 院長)
【日時】2023年1月31日(火) 19:00~
呉市医師会館 5階講堂

WEB配信も行います。多くの先生方のご出席をお待ちしております!





「創傷治療の基本と呉市医師会病院褥瘡チームの取り組み」

菅田 宗樹 先生 (菅田医院 院長)

2002年より湿潤治療に取り組み始め、2009年より呉市医師会病院非常勤で褥瘡治療を中心に勤めさせていただいています。このたび「創傷治療の基本と呉市医師会病院褥瘡チームの取り組み」について講演させていただきました。

湿潤治療に取り組み始めたころは消毒してガーゼをあてて乾かして治すが常識とされており、いつ常識が変わるかとなりに取り組んでまいりましたが、数ヶ月前、公的機関病院皮膚科部長の先生による湿潤治療の講演をWebセミナーで拝聴し、非常識が完全に常識に変わったと確信しました。

この度は講演する機会をいただき、湿潤治療に大きく関与する消毒とガーゼ、被覆材と外用剤についてお話しさせていただき、**スライド1**にまとめさせていただきました。また、創傷(褥瘡)治療について症例を交えながら日々の診療にお役立ていただけるような内容をお話しさせていただき**スライド2**にまとめさせていただきます。



創傷治療の基本まとめ スライド1

消毒

- ・創傷治療で安易に消毒を使うことは避けください。
- ・作用時間や効能効果を考慮して消毒薬を選択してください。

ガーゼ

- ・使用時は外用薬を上手に使い、創に固着しないように
- ・創が乾燥する場合は使用を避け非固着性の被覆材を使用

被覆材

- ・吸水性、粘着性、柔軟性などを考慮して選択してください。
- ・創内圧が高まると感染を助長しますので使用を避けください。
- ・比較的高価であり、使用期間など保険で減点に注意

外用剤

- ・基材の特性を考慮して適度な湿潤環境で治癒抑制に注意
- ・基材の特性を逆に活かして使用する場合があります。
- ・軟膏でも軟膏ではないものがありますので注意してください。

創傷(褥瘡)治療のまとめ スライド2

- ・褥瘡チーム他職種で専門知識を活かしながらチームケアは重要です。
- ・本日は治療に特化した内容でしたが、予防や手順などが最重要です。
- ・高齢化に伴い高リスク患者は増加していますが、近年施設や在宅でも環境が整い、重症例が減少傾向と思われます。
- ・保険適応の問題から医療用被覆材を長期に使用することは危険です。
- ・倫理的に問題があっても、ラップ療法は低コスト、低侵襲、効果大にて推奨
- ・壊死組織がある場合はまず外科的又は化学的に除去していく
- ・壊死組織にピンク針で小切開を多数加えると化学的除去促進
- ・適度な湿潤環境を保つことで治癒促進されるが糸状菌感染リスクあり
- ・加湿順や治癒促進系の薬剤で過剰肉芽となりステロイドが著効する。
- ・あと少しなのに上皮化治癒しない時、抗真菌剤が著効することあり
- ・肉芽促進時はやや加湿順、上皮化促進時にはやや乾燥気味が効果的
- ・創傷以外でも被覆材が効果を示すことがある
- ・褥瘡ではなく皮膚疾患の場合もあるので注意が必要

褥瘡チーム取り組み スライド3

メンバー褥瘡回診 隔週水曜日10時～

4階～7階各病棟褥瘡患者さん回診

褥瘡委員会月1回13:30～

- 各病棟患者経過報告
- スキンテア状況報告
- 被覆材使用状況報告
- 外用剤使用状況報告
- その他報告



最後に少し古いデータになりますが、呉市医師会病院褥瘡患者数の推移、治癒率やコストに関わる内容を伝えさせていただき、褥瘡委員の取り組みをお伝えしました。(スライド3)

未だコロナ禍であり、呉市医師会病院の状況にもよりますが、褥瘡回診見学の希望がございましたらお気軽にご相談ください。



★11月1日～11月30日

※届出日数(地域包括ケア病棟、障害者病棟等を除く)

平均入院患者数	平均病床利用率	平均在院日数*	紹介外来患者数	医療相談患者数
114.4人	57.8%	19.5日	92人	93件

呉市医師会病院 地域医療福祉連携室 あくせす

<http://www.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/>

電話 (0823) 32-7576 (直通) 院長 中塚 MSW 森下 MSW 菅原 MSW 巻幡
FAX (0823) 32-7507 室長 中間 事務 中野 事務 向井 事務 井上 事務 岩畔

